

序文

この >> 旅行百科事典<<< は、最も重要な時計博物館と歴史的な時計のコレクションを一冊の本にまとめた初めての試みです。著者自身は、地域的な限定を課していません。

もちろん完全性の点ではおおよそのことしかできません。出版社は追加情報が来ることに常に感謝しており、従って欠落しているコレクションを、この後の新装版に収録したいと考えています。また、法人・個人所有の美術館の中には、美術館ガイドで明確な解説に言及することを禁じている美術館があり、それを認めざるを得なかったことも特筆しなければなりません。

もう一つ思ったことは、この本のアイデアが生まれてから、多くの博物館関係者やコレクターが参考になる事象を明らかにしてくれたことです。フルトヴァンゲンのリヒャルト・ミューエ博士、ベルリンのクラウス・モーリス博士、ドレスデンのJ・シャルディン博士、ウェスト・ドレイトンのチャールズ・エイクト博士、ロンドンのデイヴィッド・ペニー博士、これらの方々から寄せられたイギリス縦断旅行に関するヒントを特記しておきたいと思います。

写真はすべて記載されている美術館から提供されたものです。この場を借りてお

礼を申し上げます。テキストはそれぞれ、コレクションの要点を簡潔に紹介しています。このようにこの本は、時計愛好家にとって、旅をするための刺激と計画の基礎となります。研究者にとっては、訪問先と連絡先をとるための便利なアドレス帳です。

個々のコレクションのデータについては、その所有者の情報を参照しています。それらはアンケートによって収集されました。わかりやすくするために、以下のヒントをご紹介します：

博物館やコレクションの "住所" は、読者の利便性を向上させるために、その国の慣習的な形式で再現されています。

それに続いて示される "開館時間" は祝日を考慮に入れていませんので、必要に応じて当館にお問い合わせください。

"研究機会" に関する情報は、主にコレクションの倉庫と資料室のアクセスのしやすさに関連して記載しています。

さらに、読者にはコレクションに含まれるすべての時計の "目録" が発行されているかどうかの情報をお知らせしています。

"収蔵品表" では、11 タイプに分けた各タイプの時計が、そのコレクションに存在する数を星で表しています。

+ = 1～10 個の資料

++ = 11～50 部の資料

+++ = 50 回以上の資料がある

電話番号は、ドイツ国内通話の場合用に記載されています。

ドイツ国外からは、国際国別番号（157 ページの一覧表参照）を前に置き、市外局番のゼロを省略した番号をかけます。

この旅行百科事典に多大な貢献をしてくださった、コレクションに記載されている連絡先の方々に感謝の意を表したいと思います。

クリスチャン・ファイファー＝ベリ

クリストフ B.コンラッド